

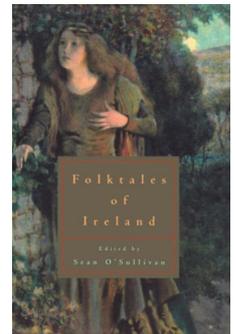
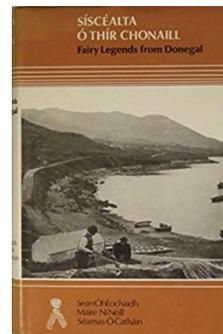
研究タイトル: アイルランドおよびケルト諸言語地域の 伝承文学



氏名:	高木 朝子 / TAKAKI Tomoko	E-mail:	t-takaki@kumamoto-nct.ac.jp
職名:	准教授	学位:	博士(文学)
所属学会・協会:	日本ケルト学会、日本アイルランド協会、熊本大学英文学会		
キーワード:	アイルランド、民話、伝承文学		
技術相談 提供可能技術:			

研究内容: アイルランドおよびケルト諸言語地域の伝承文学における超自然的要素について

異界とその住人である妖精は、ヨーロッパの様々な文学作品に描かれてきたが、これらの概念は、「ケルト」という類似した言語文化を持った人々の異界・妖精に対する考え方から少なからぬ影響を受けてきている。そこで、ケルト系言語文化の異界観・妖精観を色濃く残しているとされるアイルランド民話に関心を持ち、そこにおける異界および妖精の特徴を明らかにするための研究を行ってきた。また、異界や妖精という枠組みからのみでなく、あらゆる超自然的要素についてその特徴を網羅的に明示することを目指している。



論文:

“Relationships between Fairies and Humans in Irish Folktales,” Takaki Tomoko, *Research Reports of National Institute of Technology, Kumamoto College*, vol.12, 2019.

「アイルランドとイギリスの伝承文学におけるケルト的要素の比較」、高木朝子、『熊本大学英語英文学』第 61,62 合併号、pp.107-27、2019 年

著書:

「ケルト神話」、高木朝子、『はじまりが見える世界の神話』植朗子他、創元社、pp.44-47、2018 年



発表ほか:

“Relationships between Fairies and Humans in Irish Folktales,” Takaki Tomoko, The XVIth International Congress of Celtic Studies (Bangor University, Wales), 2019.

「アイルランドの民話と修道院文化」、高木朝子、熊本アイルランド協会、2019 年

「アイルランドのケルト神話: はじまりと影響」、高木朝子、熊本アイルランド協会、2018 年

「アイルランド民話における妖精の登場パターンと異類婚譚について」、高木朝子、日本ケルト学会九州支部研究会、2017 年

(写真上左: Ó hEochaidh, Seán. *Fairy Legends from Donegal*. Dublin: University College Dublin, 1977, 上右: Ó Súilleabháin, Seán. *Folktales of Ireland*. Chicago: U of Chicago P, 1966, 下: 『はじまりが見える世界の神話』植朗子他、東京: 創元社、2018 年)

提供可能な設備・機器:

名称・型番(メーカー)

名称・型番(メーカー)	